

平成 22 年度事業概要

法 人

理事会、評議員会の開催

平成 22 年度開催の理事会、評議員会での主な議案は以下の通りであった。

理事会

- 平成 22 年 5 月 26 日（水）
 - （学）玉田学園役員・評議員の選任について
 - 平成 21 年度事業報告及び決算について
 - 短期大学部幼児教育学科四大化に伴う新学部の開設について
- 平成 22 年 10 月 19 日（火）
 - 神戸常盤大学短期大学部の学則変更について
 - 新学部開設の進捗状況について
 - 平成 22 年度（学）玉田学園事業計画の進捗状況について
 - 平成 22 年度（学）玉田学園中間決算について
- 平成 23 年 2 月 18 日（金）
 - （学）玉田学園神戸常盤大学教育学部こども教育学科設置計画について
 - （学）玉田学園平成 23 年度予算に係る基本方針について
 - （学）玉田学園財産目録計上基準規程の変更について
- 平成 23 年 3 月 25 日（金）
 - （学）玉田学園役員・評議員の選任について
 - 平成 22 年度（学）玉田学園事業計画及び予算について

評議員会

- 平成 22 年 5 月 26 日（水）
 - （学）玉田学園役員・評議員の選任について
 - 平成 20 年度事業報告及び決算について
 - 短期大学部幼児教育学科四大化に伴う新学部の開設について
- 平成 22 年 10 月 19 日（火）
 - 神戸常盤大学短期大学部の学則変更について
 - 新学部開設の進捗状況について
 - 平成 22 年度（学）玉田学園事業計画の進捗状況について
 - 平成 22 年度（学）玉田学園中間決算について
- 平成 23 年 2 月 18 日（金）
 - （学）玉田学園神戸常盤大学教育学部こども教育学科設置計画について
 - （学）玉田学園平成 23 年度予算に係る基本方針について
 - （学）玉田学園財産目録計上基準規程の変更について

○平成 23 年 3 月 25 日（金）

（学）玉田学園役員・評議員の選任について

平成 22 年度（学）玉田学園事業計画及び予算について

財政基盤の安定化

学校法人の財政基盤の安定は何よりも入学者の確保であり、平成 22 年度は大学、短大部、高等学校共定員充足している。また、補助金等の獲得も必要不可欠であり、大学では平成 21 年度より事務組織に研究協力課、学内には大学教育研究開発センターを新設し、競争的資金、G P 等の外部資金、科学研究補助金の獲得に取り組んでおり、年々の獲得件数は増加している。（後述の大学競争的資金の獲得参照）

また、「費用対効果」を考慮し各課の予算策定から数度の予算ヒヤリングを行った結果、経費支出の効率化が図れ、決算数字にも現れている。

管理運営機能の充実

大学においては理事長が委員長となり、学長、学部長、学科長、入試委員長、教務委員長等で構成された大学運営委員会を月 1 回開催している。主な内容は中長期計画及び年度計画のうち教学・管理運営に関する事項から組織、教員人事、教育課程、各種委員会等、各種の大学における重要事項を検討している。また、高等学校においても理事長を議長とする基本構想委員会を平成 21 年度から開設し、建学の精神から多岐にわたる課題をテーマ毎に検討しており、一定の組織機能の充実が見えた。

また、内部監査機能の充実を図るため、毎年度に行われる監事研修会に監事が参加し、研修内容を理事会、評議員会で報告するなど管理運営機能の強化に努めている。

学園内の高大連携事業の推進

大学及び短期大学部との連携については、高等学校の事業概要にも報告されているように、各学科の体験授業並びに専門職に関する講義を実施し、専門職に対する理解、並びに女子校生徒の学習意欲の維持・向上に繋げるなど双方のメリットのある事業を展開した。実施内容は別紙資料（事業①）の通りである。

短期大学部幼児教育学科の四大化の検討

学内に幼児教育学科四大化検討委員会（平成 22 年 2 月 22 日）を設置し、近年の入試状況分析、県下高等学校訪問によるマーケティングリサーチ及び全国の保育士養成系大学の現状分析を行った。また一方では事前に文部科学省に事前相談（3 月 4 日、5 日）に伺い、設置認可、寄付行為変更に係る基本事項の確認を行った。

第 1 回 4 月 8 日（木）

- ① 保育系希望者の動向について（報告）
- ② 四大化に係る資格取得について（神戸親和女子大学でのヒヤリングより）
- ③ 文部科学省事前相談（報告）

第2回 4月19日（月）

- ① 保育系希望者の動向について（報告）
- ② その他

第3回 4月27日（火）

- ① 保育系希望者の動向について（報告）
- ② その他

検討委員会から新学部開設特別委員会、新学部開設準備委員会（平成22年7月12日）を設置し、開設に向け検討を行った。

第1回 7月16日（金）合同委員会

- ① 幼児教育学科四大化の計画概要について
- ② 開設準備室の役割分担について
- ③ 大学設置認可申請に係る準備等について
- ④ 教職課程認可申請に係る準備等について

第2回 8月2日（月）合同委員会

- ① 新学部の理念図について
- ② その他

第3回 9月27日（月）新学部開設準備委員会

- ① 設置の趣旨等作成に係る進捗状況等について
- ② カリキュラム編成及び教員配置について
- ③ 指定保育士養成申請に係る進捗状況等について
- ④ 広報活動等について
- ⑤ 教室の稼働率について

第4回 10月15日（金）新学部開設準備委員会

- ① カリキュラムの整備について
- ② 広報活動について
- ③ 教員の配置について
- ④ 機器備品について

第5回 12月20日（月）合同委員会

- ① 事前相談の報告について
 - ・法人係
 - ・大学設置室
 - ・教職員課免許係
- ② その他

第6回 2月10日（木）合同委員会

- ① 新学部カリキュラム（案）について
- ② その他

平成23年度も引き続き新学部特別委員会及び新学部開設準備委員会にて検討し、鋭意漏れなく平成23年5月末に申請書類提出。

子育て支援センターの設置稼働

昨年 11 月 19 日に神戸市の依頼を受け、二葉小学校跡（長田区）の神戸市立地域人材センター内に親子が子育て仲間と交流できるスペースとして「子育て広場 えん」を設置。幼児教育学科主導による様々の企画で運営を行っている。

11 月からの利用状況は以下のとおりである。

子供数 大人数

- ・ 11 月（稼働日数 7 日）160 名／211 名 ※ホッピングイベントあり
- ・ 12 月（稼働日数 18 日）173 名／306 名
- ・ 1 月（稼働日数 17 日）169 名／228 名
- ・ 2 月（稼働日数 19 日）206 名／266 名
- ・ 3 月（稼働日数 17 日）228 名／264 名

※看護学科、口腔保健学科教員の健康相談、歯の相談等もスケジュール化され、神戸常盤大学子育て支援センターとして、特色を出した事業を展開中である。

エクステンションセンター活動

共に生き、共に学ぶ「共生」の理念の基に、学生、卒業生そして地域住民のスキルアップとキャリアアップを図る「生涯学習」、学びと交流の輪を地域に求めた「地域交流」さらにその輪を世界に向けた「国際交流」と、これら 3 つの輪を主要な活動フィールドとして様々な事業を行った。

実績

① 生涯学習

公開講座（8 講座実施 受講者数 383 名が参加）

- ・サルビア講座「ヒトの血液の不思議」
- ・ウォーキング講座
- ・健康は口から
- ・高齢者の血液と病気
- ・バレーボール教室
- ・「がん」と「高齢者」の時代を健やかに生きる
- ・笠原正登先生の医療・健康講座
- ・イクメンが社会を救う

リカレント（5 講座実施 受講者数 203 名が参加）

- ・腹部超音波検査基礎研修会（対象：臨床検査技師）
- ・認定看護師による専門講座（対象：看護師）
- ・ホリスティックアプローチを目指したスキルアップ講座（対象：看護師）
- ・バイオフィルムと歯周病（対象：歯科衛生士）
- ・自閉症スペクトラムへの理解と支援（対象：幼稚園教諭・保育士など）

② 地域交流

長田区との地域連携協定の締結を契機に地域の連携活動を推進しており、下記のイベントへ参加した。

- ・ハナミズキ祭
- ・こうべまつり長田フェスティバル
- ・長田潮汲み夏祭り
- ・長田たなばたまつり
- ・丸五市場ナイト屋台
- ・鉄板こなもん祭り
- ・三国志祭り
- ・わがまち長田発見ウォーク

また、地域交流として「健康展」と称して地域のイベントで「健康チェック」を行っており、下記の健康展を実施した。

- ・東灘区市民講座
- ・常盤女子校文化祭
- ・TOKIWA 地域健康フェア
- ・学園祭
- ・旧二葉小学校まちな文化祭

③ 国際交流

・JICA 事業

青年研修（タイ国／地域保健医療実施管理コース）

期 間：8月24日～9月8日

研修生：14名（通訳 1名）

内 容：地域保健、母子保健に関する問題

公衆衛生、感染症に関する問題意識の喚起

医療施設における安全管理、精度管理の問題

予防医学分野に関する問題意識の喚起

口腔ケア分野への理解の問題

学校保健に関する問題

災害時の緊急対応や防災意識に関する問題

・ネパール研修生派遣

期 間：12月22日～12月30日

研修生：大学生3名（医療検査1名、看護2名）

短大生4名（幼児教育2名、看護通信制2名）

女子高生1名

内 容：感染症・眼疾患診療所/医学研究・教育研修センター（Shiba Kuti）を研修拠点として首都カトマンズの医療、教育施設を見学。国連人口基金（UNFPA）を訪問し、途上国への支援と活動の現状について学び、

また、本学と姉妹提携を結んでいるネパール医科大学や KIST 技術系大学において学生同士の交流を図った。

ボランティアセンターの活動

センター開設の 2 年目を迎え、ボランティア登録者数も女子高 (29 名) を含め 185 名となった。平成 22 年度活動実績は別紙資料 (事業②) の通りであり、前期こそ長田ボランティアセンター協同による事業参加となったが、後期には幾つかの計画で学生スタッフによる企画制作、運営の事業が現実となった。1 月 17 日の「1.17KOBE に灯りを in ながた」では大学生 114 名、女子高生 89 名による炊き出し、募金活動等を実施。3 月 11 日発生の東日本大震災では、義援金活動 (3/14~4/2) を実施、3/26~3/30 には岩手県社会福祉協議会と岩手県立大学ボランティアセンターをカウンターパートすることで、早期の現地入りが可能となり現地 3 日間の災害支援を行った。

大 学

I. GP 事業の推進

- ① 危機対応実践力養成プログラムの推進
採択 2 年目の事業内容は別紙資料 (事業③) の通りである。
- ② 神戸常盤発! 元気の出るキャリアガイドシステムの推進
最終年度の事業内容は別紙資料 (事業④) の通りである。

II. 新設委員会の設置

- ① キャリア支援委員会の設置
元気の出るキャリアガイドシステムの運営機関として、上記の事業内容の推進及び運営を行った。
- ② 高大連携委員会の設置
 - ・ 学園外の高大連携事業に関する事業を展開する。
 - ・ 本学の学科の特性を活かして、職業理解等の講座を開講し、高校の総合学習の指導に部分的に協力する。平成 22 年度は、明石南高校、東灘高校の医療・看護・保育類型コースの生徒に出前講座等を実施した。次年度以降は、社高校、三木北高校において看護・医療・保育の出前講座を計画している。

III. 募集

前年度同様に厳しい状況の中、積極的に攻める広報展開を計画した。
また、早期に高校への訪問を展開して進路状況などを把握し、受験生対象学年のみならず 1 年生、2 年生向けの高校内説明会に参加した。
その結果、オープンキャンパス参加動員数は、前年度比 4% 増となり、志願者数も、保

健科学部で22%増、短期大学部では12%減となったが、入学定員はすべての学部、学科において充足した。

(1) 入学者数

(平成22年度) 362人

神戸常盤大学 保健科学部	医療検査学科	92人
	看護学科	83人
	看護学科(編入)	1人
神戸常盤大学短期大学部	幼児教育学科	97人
	口腔保健学科	89人
	看護学科通信制課程	327人

(平成23年度) 355人

神戸常盤大学 保健科学部	医療検査学科	94人
	看護学科	85人
	看護学科(編入)	2人
神戸常盤大学短期大学部	幼児教育学科	94人
	口腔保健学科	80人
	看護学科通信制課程	288人

(2) 高校訪問

訪問学校数347校(昨年330校)、延べ600校

内訳(県内200校、大阪44校、他県103校)

(3) 病院及び診療所訪問

推薦入試実績施設及び岡山、香川、広島(福山市)の新規開拓を実施した。

訪問施設数169施設 内訳(兵庫県40施設、大阪6施設、京都府14施設、滋賀4施設、岡山10施設、香川70施設 広島(福山)25施設)

(4) オープンキャンパス

参加者	第一回(6/19)	129名
	第二回(7/18)	325名
	第三回(8/22)	449名
	第四回(9/4)	195名
	計	1098名(昨年度1061名)

(5) 本学主催入試説明会

参加高校48校(昨年度50校) 本学 27校
姫路 21校

(6) 業者主催入試説明会

県内、近畿、中国、四国地域で、高校内進学相談会含め、約100会場
参加者計約950名

(7) 母校訪問(7~8月)

訪問学生数59人、訪問学校数55高校

(8) 入試関係

指定校推薦入試
自己推薦入試（短期大学部のみ）
公募推薦入試 1 次、
公募推薦入試 2 次（短期大学部のみ）
一般入試 1 次、
一般入試 2 次
センター試験利用入試 1 次
センター試験利用入試 2 次
社会人入試、
社会人自己推薦入試（幼児教育学科のみ）
看護学科編入学
留学生入試
看護学科通信制一般入試 1 次、2 次
看護学科通信制推薦入試 1 次、2 次
看護学科通信制再入学入試

IV. 自己点検・評価への取組

- ① 授業改善と教育力向上を目的とした学生の授業評価のさらなる改革・改善と「学生へのメッセージ」の継続実施
 - ・「学生からの授業評価」については前期・後期の 2 回実施
 - ・「学生へのメッセージ」については後期最終授業にて各科目担当者に依頼、回収後事務局、図書館に設置し、学生等に情報を公開
- ② 各教員の教育力を高めるため、FDの充実を図る

1. 学内研修会（4 回）

- 1) 新規採用者対象研修会
平成 22 年 4 月 1 日（金）16：10～17：40
平成 22 年 4 月 2 日（土）12：00～13：30
- 2) 新規採用者対象フォローアップ研修会
平成 22 年 6 月 28 日（月） 10：40～12：00
- 3) 研修会
平成 22 年 9 月 17 日（金）13：00～16：00
テーマ：「講義の工夫について」
- 4) 研修会
平成 23 年 3 月 24 日（木）13：00～15：00
テーマ：
「本学における初年次教育（基礎セミナー、基礎教養演習）の現状と課題」

2. 講演会 (1 回)

平成 22 年 7 月 30 日 (金) 15:00~17:00

テーマ:「専門職教育における書く力ー豊かで深く、意味のある学びとはー」

講師: 井下 千以子氏 (桜美林大学教授)

3. テーマ別研究発表会

平成 22 年 8 月 23 日 (月) 15:00~

平成 22 年 9 月 10 日 (月) 13:00~

4. 学外 F D 活動への参加

1) 関西学院大学・関西地区 F D 連絡協議会共催: 第 4 回新任教員研修会

平成 22 年 5 月 15 日 (土) 関西大学

2) 国立教育政策研究所・F D 国際セミナー

平成 22 年 11 月 23 日 (祝) 文部科学省 3 階講堂

3) 関西地区 F D 連絡協議会主催ワークショップ「思考し表現する学生を育てる～書くことをどう指導し、評価するか？」

平成 23 年 1 月 8 日 (土) 京都大学

③ 今後の認証評価のための改善策実施状況調査の実施

認証評価の実施年度、並びに評価機関を検討、前回の実施年度が平成 18 年度であることから、大学・短大部ともに平成 25 年度に実施する方向で準備を進める。評価機関の候補は①独法) 大学評価・学位授与機構、②財) 日本高等教育評価機構、③財) 大学基準協会のいずれかにて、平成 23 年度委員会においても継続審議案件とした。

V. 競争的資金の獲得

設置 2 年目を迎えた大学教育開発センターを中心として、主に G P (Good Practice)、事業の推進、科学研究費補助金を含めた外部資金の獲得及び学内教員の研究業績充実に向けた支援活動等 (受託研究、奨学寄附金規程の整備を含む) を実施し以下の実績となった。

- ・私立大学戦略的研究基盤形成支援事業
「看護師と臨床検査技師の合同チームにより移動型健康管理 (MHC) システムの構築」
- ・自主的に経営改善に取り組む大学等への支援 (特別補助)
「未来経営戦略経費」
- ・「危機対応実践養成プログラム」の採択 2 年目の事業推進及び 3 年目 (最終年度) の事業計画策定
- ・「神戸常盤発! 元気の出るキャリアガイドシステムの構築」の最終年度の事業推進
- ・科学研究費補助金の継続採択件数 2 件 (基盤研究 (B) 1 件、若手研究 1 件)
- ・科学研究費補助金の新規採択件数 1 件 (若手研究 (B) 1 件)
- ・受託研究 2 件

VI. 大学間連携事業の推進

本学が大学コンソーシアムひょうご神戸で実施する海外派遣プログラムフェーズⅡ（医療系プログラム）の基幹校となり、中心的な役割を果たす。

事業：文部科学省 大学教育充実のための戦略的^ア大学連携支援プログラム
アクティブ・ラーニング型学生派遣・受入プログラムの構築を通じた広域的な大学間連携フェーズⅡ「問題解決型フィールドワークプログラム」

期間：8月23日～9月7日

場所：アメリカ合衆国ボストン

参加者：看護コース 本学5名（看護2年 3名／看護3年 2名）
兵庫県立大学 1名
医療検査コース 本学3名（医療検査3年 3名）
神戸学院大学 2名
神戸大学 1名

VII. 国際交流関係事業の推進

・JICA 事業

青年研修（タイ国／地域保健医療実施管理コース）

期間：8月24日～9月8日

研修生：14名（通訳 1名）

内容：地域保健、母子保健に関する問題

公衆衛生、感染症に関する問題意識の喚起

医療施設における安全管理、精度管理の問題

予防医学分野に関する問題意識の喚起

口腔ケア分野への理解の問題

学校保健に関する問題

災害時の緊急対応や防災意識に関する問題

・ネパール研修生派遣

期間：12月22日～12月30日

研修生：大学生3名（医療検査1名、看護2名）

短大生4名（幼児教育2名、看護通信制2名）

女子高生1名

内容：感染症・眼疾患診療所/医学研究・教育研修センター（Shiba Kuti）を研修拠点として首都カトマンズの医療、教育施設を見学。国連人口基金（UNFPA）を訪問し、途上国への支援と活動の現状について学び、また、本学と姉妹提携を結んでいるネパール医科大学や KIST 技術系大学において学生同士の交流を図った。

・口腔保健学科海外研修の実施

歯科衛生士発祥の地である歯科衛生士が活躍する歯科治療の現場を体験し、海外研修を通じて、国際的な感覚を備え、口腔保健の立場から国際貢献できる基礎能力を養う。

研修場所：アメリカ合衆国 シカゴ

期 間：9月7日（火）～9月14（火）8日間

参加学生：4名

VIII. キャリア・就職支援

キャリア支援委員会において大学、短大部 4 学科共通のキャリア教育の基本方針を検討し、年度末には「本学におけるキャリア教育の基本的方針」を打ち出した。

キャリア支援課では、学生が自分の将来像を描き、それに向けて自己の価値を高める為に、社会見学、学習指導、資格取得など夢実現に向けてあらゆる方向から全力サポートを行った。就職支援についても、各学科の就職委員会と共同して学生サポートを行った。今回初めての卒業生を出す口腔保健学科では国家試験全員合格し、就職状況も100%の実績となった。就職委員会及び就職ガイダンス開催状況、各学科の就職状況は下記の通りである。なお、医療検査学科、看護学科においては開学 3 年目のため、就職実績は省いております。

(就職委員会・就職ガイダンス開催状況)

	就職委員会	就職ガイダンス
幼児教育学科	2回	12回
医療検査学科	13回	21回
看護学科	11回	13回
口腔保健学科	11回	13回

(各科の就職状況)

	幼児教育学科	口腔保健学科
卒業生	90人	52人
就職希望者	88人	51人
就職者	88人	51人

文部科学省公募事業「平成 21 年度大学教育・学生支援推進事業（就職支援推進プログラム）」に選定された「神戸常盤発！元気の出るキャリアガイドシステムの構築」が本年度より本格運用が始まった。学生の「なりたい自分」を実現するために可能性と意欲を高め、職業観を磨くキャリア支援を展開。（平成 22 年度の実施状況は別紙「神戸常盤発！元気の出るキャリアガイドシステムの構築」を参照）

高 校

I. 平成 22 年度入学者数

家庭科	83名
普通科総合コース	206名
保育系特進コース	20名
看護医療特進コース	20名

合 計 329名

II. 生徒募集対策基本構想委員会

平成 21 年度からスタートした基本構想委員会では、最初に建学の精神を再度確認し、その後、それぞれの課題について検討している。討議するテーマが多岐にわたっており、継続中の案件も多いが、明らかになった問題点については、各分掌や各審議委員会に諮り、一定の結論を得て実施に移している。

第 10 回	委員会	4 月 28 日	第 17 回	委員会	9 月 28 日
第 11 回	〃	5 月 17 日	第 18 回	〃	10 月 20 日
第 12 回	〃	5 月 27 日	第 19 回	〃	11 月 29 日
第 13 回	〃	6 月 10 日	第 20 回	〃	12 月 21 日
第 14 回	〃	6 月 29 日	第 21 回	〃	1 月 30 日
第 15 回	〃	7 月 7 日	第 22 回	〃	3 月 7 日
第 16 回	〃	7 月 29 日	第 23 回	〃	3 月 29 日

III. 募集対策（その他）

募集担当者を中心に綿密な対策会議を開き、募集活動を効果的なものにするべく努力した。特に大学教職員の協力を得て実施されたオープンスクール、入試説明会等は参加者には好評で、その印象の良さが入学の動機に繋がり、定員確保の一助になったと思われる。また、基本構想委員会の中で発案された事項については、可能なものから逐次取り入れて実施した。

(1) 募集対策関係会議

- ・ 募集対策会議（前年度末～4月 3回）

前年度総括、今年度募集方針

- ・ 生徒募集担当者会（9月～12月 数回）

第 2、3 回学校訪問方針、学習塾説明会に向けて、事前相談資料を準備

(2) 学校訪問

- ・ 第 1 回（5月～6月） 挨拶 新入生近況報告 学校紹介
- ・ 臨時学校訪問（6月下旬） オープンスクール案内（今年度は 2 回実施）

- ・ 第2回（9月～10月） 入学者募集要項配布 ミニパンフ配布
 - ・ 第3回（11月） 募集要項の内容確認（募集基準等の確認）
 - ・ 第4回（2～3月） 受験校へのお礼、考査結果報告
後期募集説明
- (3) オープンスクール
- ・ 第1回オープンスクール 7月31日（土）午前 公開講座 午後 部活動体験
生徒241名 保護者126名参加
 - ・ 第2回オープンスクール 8月25日（水）午前 講習見学 校内見学 大学実習体験
午後 部活動体験
生徒165名 保護者106名参加
- (4) 私学展（私学合同説明会）
8月6日（金）～8日（日） 大丸神戸店9F 本校ブース 50名来場
- (5) 第5回学習塾説明会
9月16日（木） 30塾 32名参加 塾アンケート実施
- (6) 各地区入試合説明会（各地区中学校進路部会主催）
10月～11月 5地区で実施（神戸 明石 三木 加印 淡路）
- (7) 進路講話会（各中学校主催） 6校で開催
- (8) 進学相談会（新聞社等業者主催） 9月 2回
- (9) 進路学習学校訪問 6月～11月 4校
- (10) 入試説明会及び学校見学会（希望者は常盤大学見学実施）
10月30日（土）～1月8日（土） 12回開催 土日開催
- (11) 入学考査関係
- | | |
|------|--------------------------------|
| 事前相談 | 1月上旬 |
| 願書受付 | 1月末まで |
| 受験者 | 家庭科150名 |
| | 普通科 総合346名 看護152名 幼教159名 四大38名 |
| | (計 845名) |
| 入学者 | 家庭科 79名 |
| | 普通科 総合171名 看護 39名 幼教 29名 四大 4名 |
| | (計 322名) |

IV. 進路関係

厳しい就職状況にも係わらず、平成21年度に少し落ち込んだ進路決定率が9割近くに回復した。ここ数年の傾向として歓迎できるところである。

進学では、常盤大学（短大含む）への進学者が僅かであるが増加しており、1年生からの高大連携事業の成果によるものと考えられる。また、ここ数年の進学状況から四大志向が続いていると思われる。進学者の6割以上が、指定校推薦、AO入試により進路先を決定しているが、数年の傾向として、一般受験を目指す生徒も若干出てきている。

就職者数が2割を下回った。求職者はそれほど落ち込んではいないので、厳しい社会

情勢を反映しての傾向かとも思われる。

卒業生 290名 (平成22年度)

<u>進学</u>	<u>196人</u>	
	大学	67人
	短大	61人
	専門	68人
<u>就職</u>	<u>56人</u>	
<u>その他</u>	<u>38人</u>	

進学者内訳

看護医療系	47人
医療秘書、事務	3人
保育・幼教系	41人
介護・福祉系	10人
家政・食物系	38人
その他	57人

*内神戸常盤大学関係

看護学科	8人
医療検査科	1人
同短期大学部	
幼児教育学科	15人
口腔保健学科	9人

V. その他の事業

(1) 高大連携の推進

Ⅱ年P「保育進学基礎」・・・幼児教育学科後藤学科長	4月15日
Ⅲ年NP進学保護者会・・・中村法人局長説明	5月7日
Ⅲ年進学、N・・・看護、医療検査、口腔保健学科見学	5月26日
P全学年・・・幼児教育学科「狂言ワークショップ」参加	5月26日
第1学年全・・・口腔保健学科実習受け入れ	6月3、4日
Ⅰ年NP・・・上田学長講演会	6月9日
Ⅱ年N・・・看護学科Ⅱ年「基礎看護技術Ⅱ」体験授業	6月16日
Ⅱ年P・・・「保育進学基礎」幼児教育学科藤本先生授業	6月23日
Ⅱ年進路講座・・・歯科衛生模擬授業 口腔保健学科上原先生	6月23日

I年N・・・・・・・・・・医療検査学科体験学習	7月22日
オープンスクール①「医療講座」	7月31日
医療検査学科 柳田先生、本校卒業生	
口腔保健学科 上原先生 高藤先生	
オープンスクール②「各学科見学・体験授業」	8月25日
II年進学・・・・・・・・・・口腔保健学科見学	9月 7日
II年P・・・・・・・・・・「保育進学基礎」幼児教育学科瀬川先生授業	9月 8日
I年N・・・・・・・・・・看護学科体験学習	9月16日
塾説明会・・・・・・・・・・中村法人局長説明	9月16日
文化祭・・・・・・・・・・「健康講座」医療チェック	10月 9日
看護学科中田先生、医療検査学科石山先生	
I年P・・・・・・・・・・幼児教育学科小崎先生講演	10月13日
II年P・・・・・・・・・・ときわ幼稚園見学	11月18日
I年P・・・・・・・・・・ときわ幼稚園見学	11月19日
II年N・・・・・・・・・・ときわ病院見学、体験学習	12月15日
※ 全学年「歯科検診」 口腔保健学科野村先生、足立先生他	4月

(2) その他

- ・教育課程については、平成25年度スタートの新学習指導要領に準拠したカリキュラムを検討、作成中である。なかでも、高大連携を視野においた特進コースの改編（幼教、四大、看護）は一定の進捗をみた。
- ・進路指導体制は、基本構想委員会での議論を経て、可能な対策を取り入れている。
- ・特別活動については、常盤ボランティアセンターの協力を得ながら、従来から実施している福祉教育活動等とのタイアップを図った。

幼稚園

I 園児募集

平成 22 年度、5 歳児 17 名、4 歳児 17 名、3 歳児 5 名（計 39 名）という状況の中で平成 23 年度は 10 名程度の園児減が予想された。そのため新規入園募集について法人事務局と幼稚園とが幾度か募集対策について検討を重ねた。和田岬地区への園児募集ポスターの掲示、TOKIWA 地域健康フェアでの幼稚園 PR、11 月に開設した子育て支援センターでの附属幼稚園の存在アピール等を行なったが卒園園児 17 名に見合う園児募集に至らない結果となった。

平成 22 年度入園児数	3 歳児 5 名 (内 満 3 歳児 1 名) <u>4 歳児 4 名</u> (9 名)	3 歳児 5 名 4 歳児 17 名 <u>5 歳児 17 名</u> 合 計 (39 名)
--------------	--	---

入園見学会 平成 22 年 9 月 10 日 (金) 9 月 16 日 (木)

平成 23 年度入園児数	3 歳児 4 名 4 歳児 4 名 <u>合 計 8 名</u>	3 歳児 5 名 4 歳児 8 名 <u>5 歳児 17 名</u> 合 計 30 名
--------------	--	--

II 保育

園外保育 年間 6 回
発表会行事 夕涼み会 運動会 絵画展 音楽会 生活発表会

III 子育て支援事業

- ・預かり保育（預かり保育専任非常勤教諭配置 1 名）

平日	保育時間終了後	16:30 まで
年間	150 日実施	平均利用幼児数 8 人
夏休み	実施日数 17 日	平均利用幼児数 7 人
- ・教育相談 年間 72 回設定
- ・こりす、さくらんぼクラブ（毎週木曜日実施 未就園親子登園）

年間	29 回	平均参加組数 7 組
----	------	------------
- ・親子学級（子育てセミナー） 年間 14 回実施
 - ① 開講式
 - ② 楽しい音楽会
 - ③ ミニ運動会
 - ④ 救急救命について

- ⑤ 子育てについて ⑥ 夕涼み会 ⑦ 自然と遊ぼう ⑧ 絵本の楽しみ方
- ⑨ 学園祭 ⑩ スクラップブックング ⑪ もちつき ⑫ ストレッチ
- ⑬ 親子で遊ぼう ⑭ 閉講式

IV 神戸常盤女子高等学校生徒の高校生保育体験事業受け入れ

私立幼稚園高校生保育体験推進事業（補助金対象事業）

11月18日 2年生 11月19日 1年生

V 施設・設備関係

- ・4月 屋上給排水設備改修
- ・9月 園庭樹木剪定
- ・3月 ボード張替え（保育室 2室 出入口掲示版）

VI 危機管理対策

- ・園児指導 職員研修 3回
- ・施設設備の点検と避難経路確保

VII 大学との連携

口腔保健学科	歯科検診と保護者指導	6月15日
	実習受け入れによる園児への歯磨き指導	6月1日

以上

22高大連携(女子校)スケジュール表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
高大連絡協議会		5/7(金)16:30～ 短大部協議会(P)		7/2(金)16:30～(2部制) ・大学協議会(M・N) ・短大部協議会(O)								
看護医療特進コース		5/26(金) 幼児教育学科以外 の3学科見学 対象:3年	6/9(水) 学長講演 6/16(水)10:20～ N科体験授業(N2,16) 鎌田N学科長、N科教員 十九百	7/22(木)12:45～ M科体験授業(N1,20) 片山M学科長、柳田		9/16(木)10:30～12:40 N科体験授業(N1,20) 鎌田N学科長 松本、十九百、福田、岩切			12/15(水)10:00～15:30 ときわ病院見学(N2,16) 南木看護部長 宮崎教育師長			
保育系特進コース	4/15(木) 保育進学基礎 後藤P学科長講演 対象:2年	5/26(水) 保育進学基礎 狂言(大学にて) 対象:Pコース全	6/23(水) 保育進学基礎 P藤本(大学にて) 6/9(水) 学長講演			9/8(水) 保育進学基礎 P瀬川(大学にて)	10/13(水) 特別講義 P小崎 対象:1年	11/18(木),19(金) 附属幼稚園見学(2日間) (女子校と幼稚園が直接交渉)				
進学コース		5/26(金) 幼児教育学科以外 の3学科見学 対象:3年				9/7(火)13:00～15:00 O科体験授業(進2、3G) 野村O学科長、上原、泉野、澤田						
その他		5/7(金) 進学説明会(保護者) 中村法人局長	6/3(木),4(金) 口腔保健学科実習受け入れ 3日:学生27名1年5クラス で実施 4日:学生27名1年4クラス 6/23(水) ・医療系希望者対象説明会 上原 対象:2年(N・Pコース以外)	7/31(土) Open School(中学生) O=上原、高藤 M=柳田(石山)、学生	8/25(水) Open School(中学生) 大学と一部共同(大学見学)	9/16(木) 進学説明会(塾講師) 中村法人局長	10/9(土) 文化祭(健康展) T.E.C.地域交流部会					3/4(金)13:30～ 新学部説明会

10/30(土)～1/8(土)12回
学校見学会(大学見学会)

※入試広報主催の関連協議会は除く

平成22年度活動実績

	企画名(主な企画を抜粋)	内容	実施主体	実施日
1	川であそぼう!	河川の清掃等	新湊川を愛する会	4月25日
2	コミュニケーションボランティア	身体障害児との交流	肢体不自由児童養護施設	4月25日
3	ゼノの村 年輪祭	祭りの設営等	社会福祉法人縦の木福祉会	5月9日
4	神戸まつり 長田フェスティバル	ネームカード作成を通じた地域交流	神戸市民祭協会	5月15日
5	神戸大学医学部附属病院 小児病棟七夕まつり	ハンドベル演奏等	神戸大学医学部附属病院小児科	7月5日
6	世界に一冊の絵本づくり	一時保育	市民実践グループ「クリスタル7」	7月10日
7	災害復興支援に関わる学生の意見交換会	災害支援に関わる学生の意見交換	ぼっぼプラン	7月11日
8	長田水害復旧支援	水害支援	長田ボランティアセンター	7月17～19日
9	長田在宅支援センター夏祭り	祭りの運営	長田在宅支援センター	8月3～6日
10	きもだめし	きもだめしの運営等	長田ボランティアセンター	8月6日
11	かえっこバザール	おもちゃ等の物々交換の運営	シルバーカレッジ	8月8日
12	国際免疫学会 和風喫茶	和のおもてなし	神戸コンベンション協会	8月23～27日
13	全国大学ボランティアセンターフォーラム	炊き出し(姫路風おでん)	全国大学ボランティアセンター	9月2日
14	JICA タイ研修生との交流	交流会の運営等	神戸常盤大学	9月4日
15	TEC地域健康フェア ～ありがとう長田～	炊き出し(菜膳粥)等	神戸常盤大学TEC	10月30日
16	UDフェア	喫茶店の運営	UD研究会	11月3日
17	一七市拡大版	模擬店運営(ベビーカステラ)	一七市拡大版実行委員会	11月14日
18	神戸常盤大学 学祭	炊き出し(ポトフ)	神戸常盤大学自治会	11月20日
19	いたやどクリニック クリスマス会	ハンドベル演奏等	いたやどクリニック	12月12日
20	サンタが家にもやってくる	プレゼントの配布	長田中央市場	12月24日
21	1.17KOBEに灯りをinながた	炊き出し(豚汁)等	1.17KOBEに灯りをinながた実行委員会	1月17日
22	神戸大学医学部附属病院 小児病棟 壁面	創作物の展示(壁面)	神戸大学医学部附属病院小児科	毎月1回
23	東日本大震災 義援金活動	街頭での募金活動	神戸常盤ボランティアセンター	3月14～4月2日
24	東日本大震災 災害支援ボランティア	災害支援(炊き出し等)	神戸常盤ボランティアセンター	3月26～30日

危機対応実践力養成プログラム

	主な実施事業	実施時期	
1	長田区震災イベントへの参加(ボランティアセンターとの協働)	平成21年度	1月17日
2	専用ホームページ公開		1月
3	ゼミ担当教員フィールドワーク地視察(岩手県)		1月
4	GPフォーラム「いのちの原点を探る」開催		3月20日
5	平成21年度第2回地域連携支援委員会の開催		3月20日
6	「長田と震災Ⅰ」開講(幼児教育学科/口腔保健学科)	平成22年度	4月～7月
7	救急救命士資格(普通救命コース)講習会の実施(教職員、在学生、地域住民等対象)		6月12日
8	FAST(民間救急講習団体)認定		6月
9	救急救命士神戸市通算40万人達成式典開催		7月3日
10	平成22年度第1回地域連携支援委員会の開催		8月26日
11	「大学ボランティアセンター全国フォーラム2010」炊き出し開催		9月2日
12	「長田と震災Ⅱ」開講(幼児教育学科/口腔保健学科)		10月～1月
13	中間報告書発行		10月31日
14	「TOKIWA健康フェア」炊き出し開催(ボランティアセンターとの協働)		10月30日
15	「大学祭」炊き出し開催(ボランティアセンターとの協働)		11月23日
16	GPフォーラム「災害支援と心のケア」開催		12月18日
17	長田区震災イベントへの参加(ボランティアセンターとの協働)		1月17日
18	「GP合同フォーラム」視察		1月24～25日
19	平成22年度第2回地域連携支援委員会の開催		3月17日
20	教員による救急救命士インストラクター資格取得のための講習会出席(計9名資格取得)		随時

神戸常盤発！元気の出るキャリアガイドシステムの構築

	主な実施事業	実施時期	
1	キャリアガイドセミナー『就職準備説明会』(看護学科)	平成22年	2月23
2	キャリア支援委員会の設置		3月
3	キャリア支援オリエンテーションの実施	平成22年	4月
4	学生の意識調査のためのアンケート実施		4月
5	新入生を対象としたの個人面談		4月
6	学外オリエンテーションにて新入生と卒業生等との懇談会		4月7日
7	進学についてのガイダンス		4月26日
8	第1回キャリアガイダンス『命の大切さについて』講演会(野村秀明教授)		5月22日
9	第1回キャリアガイドセミナー『OB・OG懇談会』(医療検査学科)		5月29日
10	第2回キャリアガイドセミナー『臨床検査技師の話を聞く会』(医療検査学科)		6月5日
11	第2回キャリアガイダンス『命の大切さについて』グループワーク		6月5日
12	第3回キャリアガイドセミナー『OB・OG懇談会』(看護学科)		6月12日
13	第4回キャリアガイドセミナー『OB・OG懇談会』(医療検査学科)		6月19日
14	第1回合同セミナー『関係機関等説明会』(口腔保健学科・幼児教育学科)		6月26日
15	就活マナー講座の実施		6月28日
16	求人依頼・キャリアガイドシステム案内リーフレットを関連機関へ送付		7月
17	第5回キャリアガイドセミナー『OB・OG懇談会』(幼児教育学科)		7月3日
18	第2回合同セミナー『医療機関等説明会』(医療検査学科・看護学科)		7月10日
19	第3回キャリアガイダンス『命の大切さについて』グループワーク発表		9月22日
20	キャリア支援についてのアンケートの実施		10月
21	第4回キャリアガイダンス『命の大切さについて』講演会(小林咲里亜氏)		10月9日
22	第6回キャリアガイドセミナー『歯科衛生士の話を聞く会』(口腔保健学科)		10月21日
23	TOEIC対策講座Ⅰの実施		12月27日・28日
24	就職関連機関の見学会	平成23年	2月23日・25日
25	卒業生へのキャリアサポーター登録要請		3月
26	公務員試験対策講座の実施		3月
27	TOEIC対策講座Ⅱの実施		3月
28	学習習熟度チェックの実施		随時
29	新規就職先の開拓		随時
30	キャリアサポーターの登録要請及びキャリア支援事業への配置		随時